

「Panda 杯全日本青年作文コンクール 2019」 訪中プログラム感想文



公益財団法人日本科学協会
業務部国際交流チーム

目次

日本女子大学 文学部日本文学科 1年	本間 雅恵	2
熊本大学 文学部文学科	後藤 翔	3
伊藤忠商事株式会社	宮地 大輝	4
獨協大学 経済学部 2年	今村 奈津子	5
法政大学 法学部 3年	中塚 咲希	6
関東国際高等学校 外国語科中国語コース 1年	井内 英人	7
創価大学 文学部人間学科 2年	玉川 直美	8
私立敦賀気比高等学校 普通科 3年	斎藤 もも	10
長崎県立大学 地域創造学部公共政策学科 2年	森井 宏典	10
神戸女子学院 高等学部 1年	田中 揚帆	12
鮮文大学 中国語中国学科 4年	大久保 紗文	13
横浜市立大学 国際総合科学部 4年	山本 蘭	14
山口県立防府商工高等学校 情報処理科 3年	種田 涼音	15
首都大学東京 都市政策学部法学系 4年	矢野 紗耶伽	16
フリーランサー	大森 貴久	17
獨協大学 国際教養学部言語文化学科 1年	大木 麻由	20
獨協大学 法学部 4年	池田 修一	21
日本女子大学 人間社会学部文化学科 1年	日暮 美音	24
日本女子大学 理学部物理学科	横山 由果	24
神奈川県立横浜国際高等学校 国際科 2年	伊藤 涼	27

日本女子大学 文学部日本文学科1年 本間 雅恵

初めて北京を訪れましたが、中国のほかの地域との差に驚きました。普段行くのが深圳なので、夜の静かさが印象的でした。また、北京大学の広さに驚きました。日本では考えられないほど大きく、景色も美しく、一度こう言った場所で勉強してみたいと思いました。明日からは、北京のほかの場所も巡ることになると思うので、さらに色々なものを見て感じて、北京ならではの特徴を見つけてみたいと思います。

初めてだらけの北京でしたが、故宮の広さに圧倒されました。日本にも似たような建築物はありますが、それと比較しても立派なものが多く当時の権力の大きさを実感しました。学生ボランティアの方々もとても優しく楽しいひと時でした。人の出会いは一期一会というのを強く実感した日になりました。

今日の日本知識大会では、日本人でさえ答えられる人が少ないような問題を解けているのがすごいと思いました。私も、みながら一緒に解いてみましたが、自分の得意分野だけは解けたので良かったです。ですが、自分の勉強不足を感じたのでこれからもっと頑張りたいと思いました。公園では、景色の美しさに癒されたのはもちろんですが、道に文字を書いている人に中国語で話し、自分の名前を書いて頂いたのが嬉しかったです。夕飯もとても美味しく、ビールも日本より美味しく、楽しいひと時になりました。

約十年ぶりの成都でしたが、想定していたよりも発展している様子にまず驚きました。天気はあいにくの曇り空だったからか建物の境界線がはっきりしない中できらきらネオンが輝いていたので少し幻想的に見えました。四川料理も美味しく、特に麻婆豆腐が美味しかったです。北京と比較しなかったとしても、夜景がとても美しい街だなと感じました。

前回パンダ基地を訪れた時と変わらず、パンダの可愛らしい姿、ありのままの姿に癒されました。また、博物館では昔の日本も参考にしていた中国の文化に触れ、様々なものを見ることができたので良かったです。特に竹に書かれた処方箋や、彫刻が印象的でした。また、以前途中まで三国志を読んだことがあったので、武侯祠で色々見ることができ、諸葛孔明の教えなどに触れることができたのが嬉しかったです。日本に帰ったら改めて、三国志を読み直したいと思いました。

前回パンダ基地を訪れた時と変わらず、パンダの可愛らしい姿、ありのままの姿に癒されました。また、博物館では昔の日本も参考にしていた中国の文化に触れ、様々なものを見ることができたので良かったです。特に竹に書かれた処方箋や、彫刻が印象的でした。また、以前途中まで三国志を読んだことがあったので、武侯祠で色々見ることができ、諸葛孔明の教えなどに触れることができたのが嬉しかったです。日本に帰ったら改めて、三国志を読み直したいと思いました。

朝から三人で早起きをして肉まんとお粥を食べに行っただのですが、とても美味しかったです。朝から充実した時間が過ごせました。また、少しですが晴れ空も見ることができたのが良かったです。今日の見学場所はどこも面白かったですが、大学で日本文学科に所属していて漢文に触れる機会も多いので、杜甫の歴史を感じることもできたのが思い出深かったです。夕飯の火鍋はずっと楽しみにしていたので、とても嬉しかったですし、初めて変面を見ることが出来たのがとても良かったです！

中国に行くと「はじめての体験」が非常に多いです。

2 日目に現地の大学生と一緒にいろいろな話をしながら天安門広場や故宮を見学しました。中国の長い歴史が息づいた建造物を見て圧倒されるばかりでした。また夜に食べた火鍋では、タレに調味料を自分で入れるという文化があることを初めて知りました。辛さが抑えられてマイルドな味になりとても美味しかったです。また、「笹川杯」日本知識大会では、私たちと同じくらいの年代の学生が日本の知識をたくさん持っているのを見て驚きました。私は中国についてこれほどまでに答えることができるだろうか、と考えるきっかけになりました。日本が好きな中国の学生たちは皆「知りたい」という気持ちを常に持ち、勉強をしているんだと感じました。こうして目の当たりにすることで、知らなかったことをきちんと知れるいい機会になりました。

4 日目からの成都ではただひたすら濃い時間を過ごすことができました。パンダ基地でパンダを見たのははじめてで、可愛さに言葉を失いました。日中の象徴とも言えるパンダを見ることができてよかったと思いました。

6 日目に行った杜甫草堂では、杜甫の生き様を感じることができました。私は文学部であったので、古典文学も学んでいました。杜甫は其中でも好きな詩人でしたので、杜甫草堂に行くことができて嬉しかったです。ひょっとすると、日本人にもっとも知られている中国人は杜甫なのではないかとさえ思いました。そして、夜の時間を使って成都の繁華街に行きました。ふらっと立ち寄った大衆食堂で坦々麺を食べました。慣れない中国語でメニューを読み上げ、希望の辛さを伝えました。日本で簡単に出来ることが、言語が違うところも難易度が上がるのかと思いました。初めて食べた中国の坦々麺は、辛味の中にコクがあり、舌がうなる絶品でした。私はこの味を忘れないと思います。

2 年前に一度中国を訪れていた私ですが、初めてだらけの訪中旅行で一週間一度も退屈しませんでした。訪中メンバーにも、現地のスタッフにも恵まれ、毎日が新鮮で刺激的でした。

大学の食堂のご飯が美味しかったこと、夕日に照らされる頤和園の湖が美しかったこと、「変面」に魅了されたこと・・・挙げ出せばきりがありません。

今回このような機会を下さった日本科学協会の皆様及び人民中国雑誌社の皆様に深く感謝するとともに、この経験を私自身の周りの人にきちんと伝えていきたいです。楽しい一週間でした。ありがとうございました。

1 日目

北京に降り立ってまず感じたのは、寒い、、！東京の寒さとは違って、芯から冷える寒さだった。温かい中国茶を飲みたいと感じた。北京大学は静かで広くて、母校の東京大学に似ていると思った。

2 日目

北京の名所を巡った。天安門広場はよくニュースで目にするし、王府井は横浜の中華街でよく看板を目にするので、実際に訪れることができ嬉しかった。昼は四川料理、夜は雲南料理、と各地の食事も経験できて濃密な1日だった。

3 日目

日本知識大会の学生たちの知識の広さに感嘆した。学生たちの頭の良さ、日本への関心の深さを知り、そんな学生たちと交流してみたいと思った。頤和園が優雅で、暖かい日にのんびり散歩したいと感じた。

4 日目

人民中国雑誌社での表彰式で、改めて今回の訪中旅行のアレンジをして頂いたことをありがたいと感じた。社長が、近くに来たらいつでも寄ってほしい、とおっしゃっていて、心優しい方だと思った。

5 日目

今回最も楽しみにしていたパンダ基地でパンダをたくさん見ることができ、大満足。会社や上司の上海人がおすすめしていた武侯祠の竹林での写真撮影もできて、最高の日だった。

6 日目

杜甫草堂は杜甫をよく知らなかったのが、楽しめるか不安だったが、美人な成都ガイドさんが日本語で一生懸命説明してくれて、楽しむことができた。成都是必ず近いうちに訪れることを決意した。

7 日目

ついに帰国。1週間で訪中メンバーともだいぶ仲良くなった。改めて今回の訪中旅行に行けたことは幸せなことだと感じた。

今日1日北京市内を回ってみて、新しい刺激がありました。昨日は大学に行っただけだったので、あまり外国に来た感じがしなかったのですが、南鑼鼓卷の町並みや故宮を見ると中国らしさが節々に見えました。故宮の壁が赤で瓦が黄色なのが、豪華な感じがしてすごく好きです。また、水瓶の北に穴が開いているアイデアは賢いと思いました。昔の皇帝は神様のような存在だったんだろうなと建物を見ただけで分かるのが故宮でした。

普通のスーパーや中国のひとつが住んでいるマンションを眺められたのも嬉しかったです。今日1日お疲れ様でした。

今日は日本知識大会、頤和園、晚餐会でした。知識大会の問題は、以前にどんな感じなんだろうと思い調べたことがありました。大昔の事から最近のアイドルまでバラエティーに富んだ内容で、見てても興味深かったです。

頤和園は故宮に負けず劣らず広くていい運動になりました。私たちのグループはそこまで遠くに行ったわけではありませんが、それでもベンチで休んでしまったので、一周見ようと思うと大変だろうなと思いました。

歓迎会は社長さんと川口全生と同じテーブルだったので、どんな席だと思いましたが、とても明るく接してくださり恐縮でした。料理もとても美味しかったです。お土産ありがとうございました！大切にします

4日目の今日は雑誌社見学と飛行機だったので、まったり行動でき、疲れを取ることができました。立派な表彰式をしてくださって、嬉しかったです。北京では来る前思っていたよりたくさん思い出や友達ができ、名残惜しかったです。また来たいと思いました。お天気にも恵まれて空気が綺麗だったのがよかったです。歓迎会のお料理も美味しかったです。麻婆豆腐が辛かったので、さすが四川だなあと思いました。

今日はメインイベントのパンダ基地でした。動きがのんびりしていてすごく可愛かったです。時間がなくて、レッサーパンダまで行けなかったのが残念でした。武侯祠では三國志で聞いたことのある人の歴史や逸話を知ることができて有意義な時間でした。髭がとても長いのが格好いい印というのを聞いて、今の中国ではそんな人はなかなか見ないので価値観が違ってきているんだなあと、興味深かったです。昔、日本でも、浮世絵のような目が細くて富士額的女性が美人とされたらしいので、価値観が時代によって移り変わっていくのはどの国も同じですね。

今日はメインイベントのパンダ基地でした。動きがのんびりしていてすごく可愛かったです。時間がなくて、レッサーパンダまで行けなかったのが残念でした。武侯祠では三國志で聞いたことのある人の歴史や逸話を知ることができて有意義な時間でした。髭がとても長いのが格好いい印というのを聞いて、今の中国ではそんな人はなかなか見ないので価値観が違ってきているんだなあと、興味深かったです。昔、日本でも、浮世絵のような目が細くて富士額的女性が美人とされたらしいので、価値観が時代によって移り変わっていくのはどの国も同じですね。

公園では、みんなが集まって運動やお茶会をしていて、ネットで何でもやるようになる中에서도こうやって人と人が向き合って過ごしている様子が良いなあと思いました。

杜甫李白は漢詩の授業でやったのですが、ほとんど忘れてしまっていました。もっとちゃんと勉強しておけば、感動も大きかったらうにと少し後悔です。夕飯のお鍋が本当に美味しく、そ

れに加えて外の席でやっていた芸が中国の雰囲気を感じられて楽しかったです。あのお店が人気なのが納得でした。

もう一週間なのが信じられませんが、本当にいい時間でした。ありがとうございました。

法政大学 法学部3年 中塚 咲希

【11/16 感想】

正直、今日北京に来たという実感がなくらい充実しており、あっという間の1日でした。訪中メンバーは年代も様々でそれもまた面白いなと思っています。中国を学ぶとともに、メンバーからもたくさんのお話を吸収したいです。

北京は初めて訪れました。第一印象は「都会」です。街並みがとてもきれいで、時期的に紅葉もあり、日本でいうとまさに東京といった印象でした。

【11/17 感想】

現地の方と観光をして、中国人の優しさに感動しました。タクシーやエレベーターのドアを押さえておいてくれたり、料理を取り分けてくれたりと何においてもレディーファーストで、それが当たり前に行えることが本当に素敵だなと思いました。また、日本に対してすごく興味を持っていて、私たちと同じ目線で趣味の話をするのができ、その勉強熱心な部分にも感銘を受けました。この出会いをずっと大切にしていきたいです。

【11/18 感想】

日本知識大会に参加している学生の知識量に驚きました。正直、私はあまり答えることができませんでした。「興味のあること」「日本が好き」ただその理由であそこまで熱量を持って勉強して、結果につなげることは本当に凄いなと思いました。同時に、自分の学生生活を振り返ると、今まで頑張ってきたと思えることがすごくちっぽけで、彼らの努力に比べたらまだまだ力不足だと反省しました。残りの学生生活をより有意義な時間にするためにも今日の彼らの姿を目標にします！

【11/19 感想】

成都行きの飛行機の中で食べた機内食で、四川料理の洗礼を受けたように感じました。その後の晩餐会で現地の記者の方がたくさんのお話を聞く四川料理と同じ味はない、ということをお話してくださいました。これからの成都の旅でどんな料理に出会うのかすごく楽しみになりました。

【11/20 感想】

人生で初めてパンダを見ました。小さいパンダも大きなパンダもまったりしていて本当に癒されました。「かわいい」その一言しか出てこなかったです。誰からも愛されるパンダ、日中友好の象徴としてこれからも大切な存在です。博物館では長い中国の歴史を学ぶことができました。夕食の甘い料理も、四川料理では珍しくて、おいしかったです。

【11/21 感想】

あっという間に1週間が過ぎました。中国人学生との出会い、訪中旅行を共にした仲間との出会い、初めて見る景色や体験、とても充実した毎日でした。成都最終日にはふさわしすぎるほど辛い火鍋の味も忘れられません。

北京も成都も初めて訪れましたが、空気感や町並み、料理などそれぞれ特徴がありとても楽しかったです。

最後に、人民中国雑誌社様・中華人民共和国駐日本国大使館様・公益財団法人日本科学協会様、ガイドや写真を担当して下さった方々、学生ボランティアの方々、パンダ杯開催にあたりご尽力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

関東国際高等学校 外国語科中国語コース1年 井内 英人

昨日、無事に北京に着きました。僕がとても驚いたのは中国全土の高校生たちが集まって行う日本知識大会があることです。彼らは僕みたく単純に日本のことが好きでなく、日本語を学習する上で、幅広い日本の様々な分野を知ろうとする思いがすごいなと感じました。明後日、日本知識大会が行われるので、非常に楽しみにしています。僕も同じく高校生なので、これからもっと中国の様々な知識を知ろうと思いました。

今日、グループ2で、天安門広場と王府井に行きました。

天安門広場に、たくさんの建造物が集中していて、日本とは違う光景を見ることができました。観光地が、集中しているから、人がたくさんいて、日本とは違うのだと感じました。

王府井では、昔からたくさんのショッピングモールがあって、中国のボランティアスタッフが、1970年代から出来たと言っていました。そこには、たくさんのお土産があったので、ボランティアスタッフの人に勧められて、僕は、バックを買いました。

昼食は、四川料理で、カエルとかウサギとか、日本では食べることのできないものを食べることができ、美味しかったので、良い経験になりました。

夕食は、雲南料理で、日本人の口に合う料理だと感じました。とても美味しかったです。

昨日は、笹川杯全国大学日本知識大会を観戦しました。学生の皆さんは、日本人でも分からない問題をことごとく正解しているのを見て、日本に対する熱意がすごくて、びっくりしました。僕も中国語を学んでいる一人として、中国の様々な分野を答えることができるくらいの語学力をこれから磨いていきたいと思いました。そのためには、日本の物事を知らないといけないとも感じました。

午後には、頤和園に行きました。大きな湖からくる風はとても寒くて、手袋が欲しいと言いながら、歩いて中国の古代の建物を見ました。日曜日ということもあり、観光客がとても多くて、やはり世界遺産に登録される理由なんだなと思いました。とにかく広かったので、一部分しか見ることが出来なかったけど、古代の建造物が見れて良かったです。

夕食は、四世同堂で、北京伝統料理を食べました。伝統あるお菓子を初めて食べて、昔の一般人はこういうお菓子を食べられていることを知りました。

今日は、午前中に人民中国雑誌社で受賞式がありました。受賞式の前に、人民中国雑誌社の施設の説明をしてもらいました。日本人の記者と翻訳者の方がいたので、ここでも日本人が活躍しているので、驚きました。色々な人民中国の関係者とコミュニケーションをとることができました。

午後には、北京を離れ、成都に向かいました。荷物検査がとても厳しくてびっくりしました。パンダが有名なので、自然がたくさん広がっている街かと思っていたら、全然僕の想像していた景色と違いました。車の交通量が多く、立派な建物が広がっている都会でした。明日からの成都の観光が楽しみです。

今日は朝から、成都名物のパンダを見に行きました。やはり、上野動物園とは違い、ガラス張りのない自然な空間で見ることが出来たし、パンダも広々とした空間での生活をしていました。パンダ基地はとにかく広くて、カートに乗って移動をしました。移動中は風が強く吹いていたので、とても寒く感じました。パンダののびのびとしていた姿を見ていたら、僕もパンダに勇気づけられて、何事も頑張ろうと思いました。

成都博物館に行きました。やはり成都の歴史が集まっていることもあり、入る時の検査が厳しかったです。中国では、馬車が蜀漢の時代から走っていることを知り、日本より10世紀以上早く走っているのを、何事も中国から伝わっていることを改めて感じました。

武侯祠に行って、三国志の蜀漢のことを学びました。成都が蜀漢の都があることをつい最近知ったのでとても楽しみしていました。劉備が関羽と張飛と蜀漢を作ったので、作ろうと思ったところがすごいと思いました。劉備は諸葛孔明を獲得しました。諸葛孔明はとても人力を尽くしてと言っていたので、非常に劉備から認められることが分かりました。

創価大学 文学部人間学科2年 玉川 直美

11/17(土)

今日は北京の学生たちと一緒に南锣鼓巷と故宫へ行ってきました。北京の学生たちは日本語を勉強している学生で日本語がとても上手でした。とても優しくすぐに友達になれて嬉しかったです。南锣鼓巷では中国の古い街並みを味わいながら、素敵な雑貨屋さんを楽しむことができました。お昼ご飯のジャージャー面もとても美味しかったです。故宫では中国の悠久な歴史を感じました。夜ご飯の鍋も本当に美味しかったです。円卓で一緒に食べるご飯は、何倍もおいしく、何倍も楽しかったです。

北京の学生たちとはたった一日の出会いでしたが、一緒に話したり、笑ったりした時間は宝物です。

また自分が中国に来た時や、彼ら彼女らが日本に来る時にまた会いたいです！

本当にありがとうございました！

今天我们去了南锣鼓巷和故宫。北京的学生给了我们导游。他们在大学学习日语，他们的日语太好了。

在南锣鼓巷，

我很高兴得访问美丽的街道

。在故宫我觉得悠久的历史。在晚饭我们吃了锅，非常好吃！今天过得很开心啊！非常感谢！

11/19（月）

今日は午前中に人民中国社へ行き、午後から飛行機で成都へ行きました。人民中国社では社長の陳さんはじめ温かく迎え入れていただき、嬉しかったです。表彰式の会場はオシャレで中にはカフェもあり、とても素敵な場所でした。特に印象深く残っているのが、会場の入り口に入っすぐに見えた地球儀の置物、様々な言語の文字が書いてある床、中国外文局の他の地域向けの雑誌会社を含めたすべての会社名が書いてあるデザインの壁です。壁には「人民中国」の文字も立派な文字で大きく書かれていました。それを見た時に世界の中の中国というイメージが浮かび、その雄大さを感じました。中国外文局を通して、「中国」という国が真の姿として、悪いところばかりでなく、良いところ、素晴らしい文化が世界に発信されていてほしいと思いました。また、人民中国社が担っている「日中友好」の信念が日本と中国の両国への利益のみならず、グローバル社会にとっての人類益、地球益にまでつながってほしいと思いました。午後は北京を旅立ち、成都へ行きました。北京を離れる時は少し寂しかったです。またいつの日か北京を訪れる日を楽しみにしています。特に、良いところ、伝統的なものはしっかりと継承されて、改善できる場所、例えばトイレなどがさらに良くなっていることを望みたいと思いました。そして、もっと多くの日本人が北京を訪れてほしいと思いました。成都の街は北京とは違った雰囲気がありました。北京の街並みは大学や公式な建物が多かった一方で、成都の街並みはビルが建ち並んでいたのが印象的でした。明日から始まる成都の旅もとても楽しみです。

11/18（日）

今日は午前中に日本知識大会決勝戦の観戦をし、午後は頤和園へ行きました。日本知識大会では、自分も知らないような難しい問題に挑んでいた中国の優秀な学生たちの姿が印象的でした。また、大会観戦以外にも参加していた中国の学生と交流できたのが嬉しかったです。休憩時間の時に、吉林から来た楊さんという学生が話しかけてくれました。お互いどうやって日本語、中国語を勉強しているのか、どうして日本、中国に興味を持ったのかなどなど。お互いまだそこまで流暢には話せないけど、「伝えたい」という思いがあるからこそ、通じ合うものがあったことを感じました。今度、吉林に行く機会や、楊さんが日本に来たらぜひ案内したいです。

夕食会もとても楽しかったです。四世同堂というレストランで食べましたが、とても高級感があり、お店の中は中国風なデザインでとても素敵な場所でした。ご飯もとても美味しかったです。人民中国社社長の陳さんはじめ皆さんに温かく歓迎していただき本当に嬉しかったです。本当にありがとうございました。

11/20（火）

今日は成都観光1日目。午前中はパンダ基地の見学をし、午後は成都博物館と錦里でのショッピングへ行きました。パンダ基地ではたくさんのパンダに出会うことができました。実はパンダには温かい思い出があります。小さい頃、大好きなおばあちゃんがパンダのぬいぐるみを買ってくれたのです。おばあちゃんは2年前に亡くなりましたがそのぬいぐるみは今でも宝物です。ずっ

と本物のパンダに会いたいと思っていたので、今回本物の中国のパンダに出会うことができ嬉しかったです。またあんなに間近でパンダを見ることができて感動しました。本当に可愛かったです。また予想していたよりもパンダ達は元気でした。パンダ達を見ているだけで飼育員の方がしっかりお世話をしていたり、研究員の方がしっかり管理している姿が目につきました。また、今年新たに誕生した13匹の新しいパンダの内、一匹が日本の和歌山県へ派遣されたという話も印象的でした。これからもパンダが元気に成長していき、さらに多くの人に元気を与えてほしいと思いました。そして、パンダを通してもっと多くの日本の人が中国を訪れて、日中友好の架け橋になってほしいです。

私立敦賀気比高等学校 普通科3年 齋藤 もも

北京1日目で移動とか多くてハードスケジュールだったけど、北京大学の生徒さんたちと話せて楽しかったです！また北京大学でいろんな会話をしたいです！ 2日目は自由行動でいろんなところに行けて周りを眺めながら北京を見て本当に楽しかったです。ご飯も楽しくて、中国人の男性のジェントルマンさが凄くて日本人にも見習って欲しいです笑

3日目の午前中笹川杯日本知識大会を観戦し、日本人以上に日本のことを知っている方々がたくさんいて日本を誇らしく思いました。それ以上に私達も日本のことを知って教えていきたいと思えます！午後からは頤和園に行き、海辺で寒くて凍え死にそうでした ですが、その後食事会で楽しく話せてよかったです。

4日目は博物館に行って思った以上に歴史物が多く、歴史が深いんだと感じました。パンダ基地にも行って、赤ちゃんパンダから大人パンダまでいて、すごく癒されました。最後ご飯はスイーツ系が多くて甘かったけど、たのしかったです！

長崎県立大学 地域創造学部公共政策学科2年 森井 宏典

1日目

空港を降り立ち空を見上げると青空が広がっていた。また、空港から北京市街地までの間は、綺麗に黄色に色づいた银杏の葉を楽しむことができた。北京に来るのは今回が2回目であるが、前は夏に来た為「北京の秋」は初めてであった。違う場所ではないかと思うくらい、目の前には前回の北京と異なった景色が見られ、とても感動した。

北京大学に着くと交流会で披露するSMAPの「世界に一つだけの花」を練習した。僕は、何より歌が苦手である。少し戸惑っていたが、他の参加者は歌がとてもうまく、そして中国語もとても上手であった。今回初めて会ったのが嘘のような、見事なハーモニーを奏でることができたと思う。

夕食後の交流会でも、練習の時を遥かに上回る歌を歌えることが出来ただろう。また、北京大

学に留学している日本人留学生による「よさこい」も、息があったダンスと、パワフルな掛け声により会場のボルテージは更に上がった。最後に行われたビンゴ大会も大いに盛り上がり、大満足の1日目であった。

2日目

今日は、3グループに分かれての行動であった。僕はルート3、即ち「北京の旅―皇室公園編」に参加した。

ルート3では、呉さん、孫さん、王さん、そして崔さんの4人の中国人学生が共に、北京観光を行ってくれた。

まず僕たちは、月壇へと向かった。月壇では、土曜日と言うこともあり、多くの家族連れが公園に遊びに来ていた。また、お年寄りの方々も歌を歌ったり、ダンスをしたり、友達と話したりとそれぞれ休日を楽しんでいるようであった。

日本では、お年寄りが公園で自由に自分を表現する機会、文化がない。急速に進む、日本の少子高齢化の中で高齢者の医療費問題は、日本の問題の1つでもある。中国のように休みの日などは、公園で歌を歌ったり、ダンスをするなどして体と心をリフレッシュする事で健康的な老後を過ごすことができるのではないかと、思った。

月壇を参観した後は、地下鉄で地壇へと向かった。中国の地下鉄の切符は、紙ではなくプラスチック製であり、何度でも再利用が可能だ。日本の様に、使い捨てではない為、環境にも優しいのではないかと、とまたしても中国から学ぶことが出来た。

地壇近くで昼食を食べたのち、今日のメインイベント、天壇を訪れた。

天壇では、見事な中国建築と彫刻を見ることができ、中国の文化のレベルの高さを実感した。

今日1日で中国の人々が、どの様に休日をお過ごしているのか、ということを理解することができたと思う。僕も機会があったら、公園で踊っている中国のご年配の方々と一緒にダンスをしてみたい。

3日目

～朝がとにかく早かった。重いまぶたをこすりながら、朝食会場へと向かう。朝食会場に着いたがまだ準備がされていない……。 「せっかく早起きしたのに！」と思いつつも、朝食は通常7時からであるのに僕たちのために少し早く準備をしてくれていた。

ホテルのスタッフは、嫌な顔を少しもせず、僕の下手な中国語も一生懸命聞いてくれ、丁寧に対応してくれた。

「やはり中国はいいなあ」朝からとても気分が良かった。～

今日は、北京大学で行われる「笹川杯日本知識大会」を見学した。僕の大学に来ている中国人留学生がとても賢く、努力家であるため、中国の大学生のレベルはとても高いと認識していた。しかし、それを遥かに上回るほど中国の大学生は秀才の集まりであると、感じざるを得ない。そう感じた「笹川杯日本知識大会」であった。正直、自分が日本人であることを恥ずかしいと思うくらい、中国の大学生が日本のことをよく理解し、勉強してくれているのだと感じた。僕も中国の学生に負けない様に、日本、そして中国の歴史、文化などをしっかりと学びたいと強く思った。

「笹川杯日本知識大会」後は頤和園観光をした。頤和園には、とても美しい湖があり、つい見とれてしまった。また、回廊も素晴らしい作りであり、1つ1つのデザインに作者の思いが伝わってくるほど、繊細でかつ、ダイナミックな作品であった。それは時の権力者の権力大きさも同

時に伝わってくるものであった。

頤和園では、沈みゆく夕日も見ることができ、まさに「皇帝のみが味わえる幻想的な雰囲気」に包み込まれ、中国の雄大さ、偉大さを感じた。

中国人民雑誌社による歓迎晩餐会では、今まで見たこともない様な、豪華な料理、そしてとても美味しいお酒を楽しむことができた。

中国人民雑誌社の溢れんばかりのもてなしに、感動しつつ、その期待に応えられる様に今回の研修旅行、そして帰国後も中日友好の為に、自分自身ができることを全力で行い、自分を成長させてくれた、人民中国雑誌社、そして、中国に恩返しができればと思う。

ただ、中国のお酒は美味しすぎて飲みすぎてしまうので注意が必要だ。

神戸女子学院 高等学部1年 田中 揚帆

昨日一番嬉しかったのは、ビンゴ大会の景品を渡した時のことです。ビンゴした男性が、「これ頂いてもいいですか？」って言うので、私が「はい！」と言うと、めっちゃ嬉しそうな笑顔で「ありがとうございます！」と言いながら私の景品を受け取ってくれました。頑張って選んだ景品だったので、私自身もすごく嬉しくなりました。

北京は大気汚染が酷いと聞いていたのですが、昨日は快晴で、驚きました。北京の秋は、寒いですが本当に美しいな、と思いました。銀杏が澄んだ冷たい空気の中で何本も連なる様子が青空に映えていて、何枚も写真を撮りました。この美しい季節にこの街に来られてよかったなと思いました。

今日は美味しいものをいっぱい食べました。tan hu lu とか、雲南料理とかです。日本とは違ってスパイスを沢山使った味付けが印象的でした。虫も食べました。意外にも美味しくてびっくりしました。

ボランティアの李さんとお互いの国のことを話したのがとっても楽しかったです。アニメの話をしたり、李さんの恋バナを聞いたりもしました。

日本知識大会で仲良くなった楊光さんたちと一緒に頤和園を回りました。ちびまる子ちゃん好きな楊光さんと色々話をしました。日本語の音が可愛いと言っていて驚きました。頤和園の夕暮れはとっても美しかったです。晩御飯はとっても美味しくてお腹がはち切れるまで食べました。

四川料理は辛いと聞いていましたが、今日食べた料理は品毎に色々な味で、辛いものも、甘いものもあって、とっても美味しかったし、どの皿も飽きずに食べられました。同じテーブルにいた人民日報の方から、四川料理は「百菜百味」だと教えてもらいました。本当にその通りだと思いました。

ホテルの部屋は35階で、夜景が綺麗に見られます。成都是北京よりもキラキラした電飾が多い気がします。

明日、パンダに会うのが楽しみです。

今日はとっても可愛いパンダを沢山見ました。本物のパンダをあんなに近くで、いっぱい見たのは初めてです。すごくモフモフしてて、丸っこくて、一つ一つの動きが愛らしかったです。日

本では絶対見られないパンダづくしの贅沢な光景で、成都に来て良かったなあと思いました。

あと、三国志の劉備玄德のお墓に行ったのも印象的です。歴史の授業で習ったり、小説に登場したりしていた劉備玄德は半ば伝説のキャラクターのような印象を抱いていましたが、「ここに遺体があります」と言われると急に実際に中国で生きていた人間なんだ、という感じがして、感慨深かったです。

杜甫草堂で、解説の方が、「杜甫の詩は中国人がみんな子供の頃から習っていて好きだ」と言っているのを聞いて、杜甫の詩を読んでみようと思いました。杜甫草堂はすごく立派で中国人の観光客が多かったので、これ程大切に扱われている人ならさぞや凄い詩を書いたに違いない、と思ったからです。

あと、夕食の時に、ずっと見たいと思っていた変面ショーを見ることが出来て満足しました。

鮮文大学 中国語中国学科 4年 大久保 紗文

今日、中国に到着し中国の空気、におい、雰囲気を感じた瞬間、私が中国に留学していたときのことが思い出され、懐かしさを感じました。“私はやはりこの中国の雰囲気、人が好きだ。” そう感じた瞬間でした。また、今回北京大学のキャンパスに入ったのは初めてでした。どのような校舎で、どのような学生が、どのような学食を食べ、学んでいるのかを直接見て、食べ、感じれたことが、大学巡りが好きな私にとっては本当に嬉しかったです。パンダ杯のメンバーの皆さんとも様々なことを話し、共有でき、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました♪♪

北京訪中旅行 2 日目は中国の学生と一緒に北京を観光。私たちは南鑼鼓巷と故宮に行ってきた。続さんが故宮の建築や歴史の問題を各スポットで出してくださったおかげでより一層中国の歴史や文化を感じることができ、とても楽しかった。また、昼食で食べた炸ジャン面、夕食の火鍋は北京現地の味を味わい、美味しかった。中国のボランティアで来てくださった学生と観光しながら沢山語り、たったの 1 日という短い時間でも家族のように一緒にいて安心感を感じるくらい良くなれて本当に嬉しかった。この出会いがこれからもずっと繋がりますように。

【3 日目】北京での 3 日間本当に良い天気恵まれながら過ごせたことに感謝でした。日本知識大会では、様々な分野の問題が出題され、それに答える中国の学生を見て、日本に対する情熱を感じました。頤和園では吉林の中国の学生と一緒に観光しながら日本語、中国語の両方を使って交流でき、また私自身中国の東北に留学したことがあったので話の共通点が多く楽しかったです。また人民中国雑誌者による歓迎晩餐会では人民中国雑誌者の方と直接お会いでき、今回の私たちの訪中交流の為に沢山の準備をしてくださったことを感じ、感謝でいっぱいの思いになりました。

【今日】中国外文局にて授賞式があり、人民中国雑誌社の見学が出来たことで私もより一層中国語の学習に力を入れ、日本と中国を繋ぐことのできる人民中国雑誌者で働かれています。また今日ついに成都に到着し、ホテルでの夕食。そこでは予想以上のホテルで私たちを成都に迎えてくださり驚きました。成都での第 1 回目の食事は全て美味しく、また感動しました。美味しい料理を囲みながらみんなで食べるとより美味しく感じましたし、また食事の場を通して中国の文化も知ることもできました。

～パンダ杯訪中研修旅行を通して～

“こんなにも日本に興味を持つ学生がいるのか！”。私にとっての初日に北京大学で行われた、笹川杯日本知識大会で中国の学生の熱い眼差しを間近に見ることができ、素直にとっても嬉しく、パンダ杯訪中研修旅行の素晴らしいスタートとなりました。同時に日本と中国の学生間交流により新しい日中関係がすでにスタートしていると実感できた瞬間でもありました。それはこの旅の中で終始強く感じました。

北京、成都での滞在中、中国をあらゆる角度から五感すべてで体感することができました。訪れた武侯祠や杜甫草堂で中国の深い歴史とそれらの歴史を尊重する中国の方々の気持ちを強く感じました。特に印象に残っているのは、パンダ基地です。初めて目にするたくさんのパンダに終始目が離せませんでした。訪中の際にも、何度かお話させていただきましたが、初めて来日したパンダのランランと私の名前が蘭ということで幼いころから友人からランランと呼ばれることが多く、パンダには特別な愛着がありました。パンダは中国と日本の友好に大きく関わっていることから、私自身も日中友好にもっと貢献したいという気持ちが一層増す経験となりました。

今回で訪中は2回目。1回目は大好きな“もう1人のお姉ちゃん”に会いに。その時は、会うことが目的だったけれど、初めて足を踏み入れた中国という未知の場所に瞬く間に虜になりました。どんな出来事もきっかけは小さなこと、日常の合間にある探求心を擦られた事柄だと思います。今回は作文を書いてみようとした小さな勇気が、こんなに素敵な経験と新しい出会いに繋がりました。特に、旅を共にした参加者の皆さんは同じ日本に住んでいても、この機会がなければ会うことは難しかったと思います。中国に興味のある参加者の皆さんに会い、日中友好の輪をさらに繋げていきたい、きっと皆さんと一緒にならもっと広げていくこともできると確信しました。今回、自分の目で見て、感じ、思ったこと、考えたことを大切に、1人でも多くの人に自分の言葉で共有していきたいです。メディアを媒介し多くの情報が溢れる現代だからこそ、自分の言葉で素直に語る価値も改めて実感しました。そして、私に中国への扉を拓いてくれた“もう1人のお姉ちゃん”のように、私も誰かの中国への扉を1センチでも拓くことができたらとても嬉しく思います。

改めてこの素晴らしい機会を提供して下さった人民中国雑誌社の皆さま、日本科学協会の皆さま、そしてこの旅に関わって下さったすべての方との出会いにこの場を借りて心から感謝をしたいと思います。謝謝。

訪れるたびに もっと好きになる、もっと知りたくなる中国。次は何を見せてくれるだろう。また逢う日まで。

11/16

生まれて初めて日本から出ました。中国は景色も、音も、匂いも、料理の味も、何もかもが日本と違います。360°どこを見渡しても新しい発見だらけでとても楽しいです。晩ごはんに出てきたココナッツのジュースがとてもおいしかったのでお土産に買って帰りたいです。ビンゴ大会では、中国人の方々が楽しそうにビンゴに参加していたのでこっちまで楽しい気分になりました。歌は少し失敗してしまいましたが、一生懸命歌えたので良かったです。これから1週間、どんな事が起こるのか、ワクワクとドキドキが止まりません！

2日目でした！天安門の前で写真を撮ったり、サソリやセミや蚕を食べたり、とっても濃い1日でした！中国人の李雪涛さんがとても丁寧にサポートしてくださって本当に嬉しかったです！we chatの連絡先も沢山のひとと交換できて、中国にいっぱい友達ができてとても嬉しいです！

11/18

笹川杯日本知識大会を見学しに行きました！日本人の私でも到底解くことのできない問題だらけで、中国人の大学生がこれほど熱心に日本のことを勉強してくれているのだということに感激しました。その後は世界遺産を観光しました。雰囲気がとてもよくて、また蓮の花が綺麗な時期にもう一度来たいと思いました。晩餐会はとても楽しい雰囲気で、社長さんがとても優しかったです！

11/19

午前は人民中国雑誌社での受賞式がありました。社長自ら社内案内してくださって、人民中国についていろいろ知ることができました。

その後は空港へ行き、成都へ向かいました。

成都のホテルが豪華すぎてびっくりしました！晩餐会のお料理もとても美味しかったです。

明日はパンダを見に行くのでとても楽しみです。

11/20

パンダ基地にパンダを見に行きました。パンダを見るのは初めてなので前からとても楽しみにしていました。小さいパンダから大きいパンダまで色々なパンダがいました。とってもかわいかったです！その後は中国の歴史について学びました。日本とは違った発展を遂げてきてて、いろいろな発見がありました。明日は観光最終日なので楽しみたいです。

11/21

観光最終日です。望江楼公園では朝の散歩や太極拳の練習をしている方がいて、中国の人々の暮らしに少しだけ近づけたような気がしました。お昼には陳麻婆豆腐を食べて、夜は火鍋を食べました。中国に来た当初は本当に辛いものが食べられなかったけど、1週間経った今では少しだけ食べられるようになりました！寛窄巷を散策している時に、「日本に帰りたくないな」とみんなで言いながら歩いていました(笑)本当に帰りたくないです。明日で訪中団とお別れというのが信じられないです。ああ帰りたくない！！！！！！

【中国研修旅行の感想文】

この度、パンダ杯作文コンクールで入選し、研修旅行に参加させていただきました。授賞式の日、中国大使館に入館するのも初めてで、実際に大使の方や日本科学協会の方とお会いできて光栄でした。このコンクールには、「中国留学も終えたし、自分の思いをまとめた文章にしてコンクールに参加してみようか」という軽い気持ちで応募したのですが、それがこのような形で評価され、貴重な機会を頂くことが出来て、本当に感無量でした。

大使館での立食パーティーで頂いたお食事は大変美味しい中国風の味付けで、その晩からすでに中国に居るような気分で、翌日からの研修旅行への期待で高揚していました。

北京と成都での滞在はどれも忘れがたい思い出です。

11月の北京は東京よりも遥かに寒く、体の芯から凍えるような感覚でした。北京大学にて歌の練習や校内の散歩をして、上海に留学していた日々を思い返しました。日常生活が全てまかなえる規模のなんでも揃っている学校内の環境や、ボリュームミーで大胆な盛り付けの学生食堂での食事も、全てが懐かしかったです。未名湖の歴史を感じられる夜景は非常に幻想的でした。

現地の学生と市内観光をするオリエンテーションでは、忘れられない出会いがありました。北京外交大学の学生の”シカちゃん”と、日本語と中国語を織り交ぜながら、短い時間の中で確かに友情を育みました。夕食では北京本場の羊肉火鍋も頂いて、あまりの美味しさに箸が止まりませんでした。今まで日本や上海、台湾で食べた火鍋とは全く異なるスタイルで、シンプルな味付けと新鮮な羊肉の組み合わせに感動し、中国料理の奥深さに感嘆しました。そしてその夜、ホテルに向かうタクシーの中で印象的な事件が発生しました。運転手が、私と日暮さんが日本人であることを知り、日本に対して好意的でないコメントを述べ始めたのです。上海に留学していた頃もこのようなことはたまに起きたので、一人の運転手の意見としてさほど気にも留めなかったのですが、その運転手の意見に対してシカちゃんが一生懸命に反論してくれたのです。そして、私に「この状況、好きじゃない、良くない。今の若い世代、私達の世代は違うからね。日本のこともっと理解しているし、時代は変わっている」と力強い言葉をくれました。そんなシカちゃんの真剣で誠実な態度には感銘を受けましたし、私も同意です。「日中はこれからどんどん仲良くなれるに違いない」と確信させられました。シカちゃんとはその日出会ってその日に別れ、まさに一期一会でしたが、また次再会したときにはまたあの日の続きのように話をできると信じています。

北京大学での日本知識大会では、大会参加者の知識量と語学力、何もかもに圧倒され、知的好奇心の大切さを目の当たりにしました。北京の人民中国雑誌社本部の見学も大変貴重な経験でした。人民中国雑誌社の歴史や理念を感じられ、編集の職業に興味を抱きました。北京には以前にも一度訪れたことがあったのですが、その時の観光とは全く異なる経験ができ、北京という都市の味わい深さを知りました。今後も何度も訪れたいと思う場所です。

今回、成都是人生で初めて訪れたのですが、四川省は一体どんな所なのか？中国で最も幸福度が高いと言われる所以は何なのか？と大変楽しみにしていました。四川では毎食において麻婆豆腐から火鍋まで、様々な四川料理を堪能し、大満足でした。やはり、同じ中国料理でも各地方で全く異なる食文化があるというのは趣深いです。また、パンダ繁殖基地から三国志や古代の詩人

など日本人にも馴染みのある歴史に関連する名所が多々あり、見どころ満載でした。成都での滞在の中で最も印象的だったのは、望江楼公園で現地の老人から伺った生活スタイルです。彼によれば、成都の老人は早朝からヨガや太極拳、社交ダンスに励み、運動した後は公園内の茶亭で友達とお茶とご飯を楽しみ、麻雀を打って一日を過ごすのだそうです。本当に理想的な老後の過ごし方だと思いました。高齢化が進む日本の高齢者の間でも、このような生活が普及すればさらに幸福度は上がるのではないかと考えさせられました。数日の滞在では、成都の魅力はまだまだ発見しきれなかったですが、今後も必ず再訪したい都市です。

今回の研修旅行では本当に言葉では言い尽くせない貴重な経験をさせて頂きましたし、中国への理解もますます深まり、好奇心が刺激されました。この思い出を活かし、今後も日中関係における橋渡しのような役割を積極的に担いたいです。

フリーランサー 大森 貴久

今般の研修旅行では大変にお世話になります。

何よりもまず、「日本知識大会」という催しそのものに驚きながらの訪中となりました。そして、交流会の会場をいっぱい埋める中国の学生の方々の熱気に、ただただ圧倒されました。

人口に対する比率を考慮すれば、あくまで一部の人々なのかもしれませんが、中国の若者たちが純粋に日本のことを知ろうとしているという事実に感銘を受けるとともに、僕たちももっと中国のことを知らなければならぬと痛感しました。

ビンゴゲームの景品には、江戸時代の日本の全国地図（複写）を用意しました。当選した方と壇上で少しだけ言葉を交わしましたが、喜んで頂けたようで良かったです。

明日は、中国の学生たちと北京市内を観光することになっていると伺っています。いろんなこととお話ししたいと思います。

明日からも、よろしくお願いします。

【17日（土）北京観光】

五壇八廟のうち、月壇・地壇・天壇の3ヶ所を見学しました。地壇の銀杏大道は、ちょうど秋ということもあり落ち葉が実に綺麗でした。私が生まれた大阪も、いま住んでいる東京も銀杏が街のシンボルの木です。綺麗な銀杏の落ち葉は、日本人と中国人のそれぞれの美意識に、大きな

影響を与えているはずだと思います。その影響がどこまで共通し、どこから異なるものになるのか。両国の美意識という視点から、時間をかけて考えてみようと思います。

ボランティアの呉さん（中国社会科学院）から、五壇に祀られているものを理解するためには、故宮から見た東西南北の位置関係が重要だと伺いました。これも日本に帰ってから勉強してみようと思います。そして、残りの先農壇・日壇、八廟も次の機会に訪れてみます。夜の歓迎会で飲ませてもらった白酒は、とても美味しかったです。中国の方々の“おもてなし”も体感することができ、勉強になりました。

【18日（日）日本知識大会・頤和園観光】

日本知識大会の設問は予想していたものより遥かに難易度が高く、純粋に驚きました。例えば、すべての中国の人々が知っている中国人の俳優・歌手・映画監督・作家は誰なのか。このことを日本の大半の人々は知らないだろうと思います。正直に申し上げますと、日本の人々には親中や反中など、中国に対していろんな感情を持っている人がいます。ただ、それはそれとして、私が最も危惧しなければならないと思うのは、好き嫌いといった感情以前の“無関心”です。

大会を観戦して、とりわけ日本の若い人々は中国の歴史や文化に対して、いま以上に具体的に、関心を抱く必要があると感じました。中日友好といえども、相手国の事柄についての知識を持たなければ、何も始まらないように思います。

決勝戦の後には、大会の会場で知り合った吉林化工学院の先生・生徒たちと一緒に頤和園に。学生の皆さんとゆっくりお話ができ、彼らの日本に対する関心の“根っこ”を垣間見ることができたように思いました。

【19日（月）外文局パンダ杯授賞式・成都へ移動】

外文局副局長のお話のなかに、『漢書』のなかに出てくる「雨垂れ石を穿つ」という言葉がありました。今般の研修旅行において、人民中国の方々が何から何まで丁寧に対応してくださる理由は、この言葉に表れているように感じます。

一滴の雨垂れが、長い時間をかけて繰り返されることで固い石をも貫いてしまう。私自身にできることは、あくまで一滴の雨垂れのごとく、目の前のひとりの中国の方に対して、どこまでも誠実に接していくことだと思います。

午後の便で成都に移動。夜の晩餐会では、人民日報社の現地記者の方と、さまざまな情報交換をすることができました。

【20日（火）パンダ基地・四川省博物館・武侯祠・錦里】

日中国交正常化の際、中国から日本に贈られたカンカンとランランの二頭のパンダは、日本でもとても有名です。その意味でも、相手国への関心というのは外交において非常に重要なことだと思っています。パンダ基地の見学では、中国政府が取り組むパンダの保護を目の当たりにすることができて良かったです。

四川博物院で行われていた展覧会「双城記」は、実に見応えがありました。紀元前5世紀頃から近代に至るまで、各時代の造形を総覧することができ、とても勉強になりました。細かいことは書きませんが、特に印象的だったのは時代ごとに変わる人間の表情と衣装でした。

僕の父親は大の『三国志』好きでした。思えば、その影響から僕も子どもの頃はよく漫画で『三国志』に親しんでいました。当時の感想は「人は名誉やお金のためなら、こんなにも容易く他者を裏切るのか」ということでした。吉川英治の小説は高校生の頃に読んだと記憶しています。今回、武侯祠を訪れてみて再読しようと思いました。

【21日（水）望江楼公園・杜甫堂・金沙遺跡博物館・青羊宮・寬窄港】

杜甫堂の博物館に、杜甫が暮らした草堂の近隣住宅の跡地から見つかったという硯が展示されていました。ただ、硯とはいっても10センチ角の石を削っただけの粗末なものです（写真も添付します）。

ガイドの方のお話にもあったように、杜甫は経済的に恵まれた環境で詩作をしていたわけではありません。展示されていたものは杜甫の硯ではありませんが、おそらく同じようなものを使用していたのではないかと想像が膨らみました。

こうした発見や想像は、やはり現地に訪れないと体験できることではないと思います。杜甫堂を訪問できて良かったです。

金沙遺跡博物館では、ふたつのことを考えました。

ひとつは建造物のスケールの大きさについてです。四川博物院もそうですが、あれだけの規模の建造物を地方自治体が作ってしまうあたりに、現在の中国がどれほど文化・文明を大切にしているかが表れているように感じました。

そしてふたつ目は、古代から西側の国々（特に中東のあたり）と交流があったのだろうということです。それは人間の姿を模したさまざまな作品の表情や造形から読み取れるように思います（もちろん、エビデンスはすでにたくさんあると思いますが）。

青羊宮では、自分自身の道教に対する知識の乏しさを痛感しました。やはり、日本人には道教や儒教よりも仏教の方が馴染みがあります。道教・儒教については、これから少しずつ勉強を試みようと思います。

寬窄港での最後の晚餐会では、少しだけでしたが変面を見られて良かったです。

今日は、主に北京大学で中日青年交流パーティーに参加しました。私は、初めての訪中でして中国語を学び始めて1年も経っていなかったのととても緊張していました。パーティー本番に向けてのリハーサルでは、歌詞の中国語の部分を訪中団メンバーの方々が丁寧に教えて下さり、とても嬉しかったです。本番も、観客の皆さんが手拍子をするなど温かく見守って下さったおかげで落ち着いて、楽しむ事ができました。さらに、ビンゴ大会では中国の方々が、ビンゴカードを珍しそうな表情で眺め、積極的に参加している姿が印象的でした。北京大学はとても広く、大学内でも車やバイクが走っていることに驚きました。いつか機会があれば、図書館や教室に入りたいです。

今日は、北京市内を中国の 同年代の方達に案内していただきました。私は、ルート3だったので色々な公園に行き、建物などの景色を楽しみました。中国人のスタッフの方々はとても優しく、私の中国語の発音を直して下さったり、中国の文化をたくさん教えて下さいました。特に、中国の方々がネットで日本のドラマやアニメを観ていることに驚きました。初めて中国の地下鉄に乗ったり、今までに食べた事のない中華料理を食べられたので嬉しかったです。これからは、私達のような若者が交流していくことが日本と中国が繋がる第一歩になると思います。そのためにも、双方の文化や歴史などについてもっと学びたいと思いました。

今日は、午前中に人民中国のオフィスを見学しました。社長さん自ら案内や説明して下さい、人民中国の歴史やそれぞれの部署で行なっていることを知ることができました。私は、今まで人民中国を読んだ事はありませんでしたが、人民中国の雑誌には、日本と中国の記事など様々な情報が得られるので、これからも読み続けたいと思いました。また、中国に来て初めて表彰式を行いました。改めてこのような、光栄な賞をいただけて嬉しかったです。中国外分局の方々はとても温かく私達を受け入れて下さいました。中国にも日本にもお互いので国をあまり良く思っていない方はまだまだたくさんいらっしゃると思います。そのような中で私にできることは少ないかもしれせん。私達のような小さな出会いが中国と日本を知る繋ぐ一歩になればと思いました。

今日は、午前中にパンダ基地を見学しました。木に登っているパンダや笹を食べているパンダなどたくさんの表情を見ることができました。パンダを見たのは、小学生ぶりだったので生で見られてすごく嬉しかったです。基地を訪れている現地の人々もそれぞれパンダのコスチュームをして楽しんでるのが印象的でした。たくさんのパンダが見られるのは、この基地だけだと思いますし日本にもシャンシャンが来てパンダがブームになっているので、日本からの観光客が増えることを願っています。

故宮博物院では、中国の昔の歴史や生活の様子を知ることができました。とても広くまだ見学できていないフロアもあるので試してみます。劉備が奉られている神社にも行きました。ちょうど、授業で三国志の映画を観たので、より深く三国志の裏側や歴史を知りました。錦里では、様々なお店があり、どの建物を中国ならではの風情を感じました。今日1日で中国の歴史や文化をたくさん学べたので今後の学校での授業や中国人の方と関わる上で役立てたいです。

今日は午前中、望江楼公園と杜甫草へ見学に行きました。公園は広く、自然豊かでとても快適でした。印象的だったのは、女性の方を中心に太極拳などの体操をしていたことです。日本に

は、ラジオ体操はありますが、長期の休みの日参加してるので。普段から何人もの人々が体操をしている姿が印象的でした。皆さんの身体はとても柔らでした。また、杜甫草にも行きました。授業で徒歩の作品話を聞けました。実物の石像など見られて嬉しかったです。博物館では、地層から発見された様々なものを見られました。夕飯の四川料理もとても楽しく過ごすことができました。改めて、訪中メンバー、スタッフさんパンダ杯に関わって下さって方、優しく接して下さった方にお礼を言います。ありがとうございました。

獨協大学 法学部 4年 池田 修一

16日

中国到着、強風があつたらしく、空気がきれい
バスで、ホテルに。一回、井内さんの部屋に、荷物預けて、バーガーキングのハンバーガーを食べる。辛かったし、忙しなかった。

バスで、北京大学へ。歌の練習。ピンイン見ながらも、難しかった。でも、中国の留学生は上手かった、ソーラン節も。

北京大学で、学食。お粥とココナッツジュース？美味しかった。どちらもだけど、すぐに食べられて、消化も遅いので、勉学の忙しい大学生には向いているなと思った。

歌は上手く歌えなかったけど、ビンゴ大会が盛り上がった、大きい商品が人気だった。次プレゼントするときは、大きいのにしようとおもう。

17日

今日も空気綺麗で、快晴。

中国の地下鉄って嚴重。荷物をチェックするし、電車にも、改札にも、警備員がたくさんいた。

平安門広場、すごい広い。観光客も多い、毛沢東記念館も、故宮もあって、北京だったらここだけで観光は十分。というか、一日あっても回れるかどうか。多くの観光客に、やはり注目すべき、中国の大切な場所なのだと気づいた。

側の商店街に行った。果実の飴をコーティングしたものをご馳走になった。お土産も、ボランティアの方に教えてもらいながら、良いものが買えた。

お昼、四川料理。辛いのもあったけど、おいしかった。カエルとウサギは初めてだったけど、勧められて、食べてみて、良かった。

午後、王府井、まるで銀座みたい。人も多くて、日本みたい。日本人は、北京で、日本と変わらず、暮らせるなと思ったくらい、充実している。

晩御飯に、雲南料理、米の麺に、鳥のスープ、どれも奥深い味がして、素材の良さや香辛料の豊かさを知ることが出来た。

18日

7:00 から、再び北京大学に出発。

到着後、笹川杯日本知識大会の記念撮影。背が高いのに、前方で写ったので、後ろの人がちゃんと写ったか気になった。

笹川杯日本知識大会の問題は、本当に難しかった。時々、日本人なら分かる問題もあるけど、中国の方にとっては、分からないことが当たり前だと思った。

それでも、解答してくれたり、考えて、絞り出そうとしてくれている姿が、嬉しかった。お昼は、北京大学の学食。前回よりも、美味しかった。シンプルな味付けだけど、ちょうど良い濃さが、ご飯に合った。

午後は、頤和園。皇帝が、自身の母親の夏の避暑地のために作らせたとか。ここの3/4を占める大きな湖と住まいである多くの建物があり、昔の皇帝は、多大な権力を持っていたのだと感じた。景色がとても綺麗で、多くの写真を撮った。

夜は、人民中国雑誌社の人たちと晩御飯。どのくらい豪華なのか楽しみにしていた。期待以上に、美味しいものが、たくさん食べれて良かった。白酒がとてもおいしく、何度も飲ませていただいた。楽しませてくれようとする人民中国雑誌社の皆さんの気持ちが伝わった。

19日

朝から、人民中国雑誌社に訪問。

古くから、また、国交の正常を問わず、日本に向けて、中国のことを教えてくれていたのだと知りました。この思いに応えられるように、頑張りたいと思いました。古くから記者の役割を担ってきただけに、貴重な写真も見れて、普段では体験できない貴重な経験になった。表彰式では、立派なたてを頂きました。

午後は、国内線の飛行機で、成都へ。

飛行機の中で、機内食が出され、晩御飯が近いので、断ろうとしたら、食べさせられた。自分は英語も通じないのかと、不安になった。

成都到着後、すぐにホテルへ。外装やエントランス、部屋がとても綺麗で、驚きました。

20日

朝から、パンダ基地に出発。パンダ基地は、竹や林に囲まれていて、とても大きい施設だった。もっと、コンパクトに作れないものかと感じた。3つくらいの施設を回れたけど、全部の施設を回するには、骨が折れそうだと感じた。

パンダは、可愛い姿がとても目立った。でも、竹の茎を噛み砕いている姿もみて、やっぱり熊なんだと感じた。触ってみたかったけど、近づかなくて良かったのかもしれない。やっぱり、パンダの赤ちゃんがいいな。

午後は、成都博物館と武侯祠を見学。

成都博物館は、時代ごとの展示物を見ることが出来た。階層ごとに、展示物が発展していく姿に、歴史の流れを感じました。

武侯祠では、劉備や関羽、張飛、趙雲といった憧れの人物に会うことが出来て嬉しかったです。私が、知っている蜀の話と、本当の話とで異なる部分もあり、面白かった。

21日

朝から、望江楼公園へ。竹林に囲まれた、幻想的な公園。太極拳やヨガをやっている人がいて、市民に愛される公園なのだと感じた。

次に、杜甫草堂へ。有名な杜甫の資料や像があつて、貴重な体験が出来た。杜甫の漢詩のルーツを辿れた気がした。「国破れて山河在り」など日本にも影響を与えた杜甫が、豊かな自然に囲まれ、また、どのような家で暮らしていたのかなど、偉大な詩聖の姿が垣間みえた。

金沙遺跡博物館へ。

金沙は、パンダと同じく、もう一つの成都のシンボルだそう。確かに、至る所に、マークが書いてあった。この博物館では、他にも貴重な発掘物があつて、当時の技術力の高さや独特の感性や現代でも受け入れられそうな感性が感じられた。中でも、金沙は、2mmの厚さで、太陽と鳥を表しており、マークとしても、カッコ良かった。

道教の祀られた青羊宮へ。

後で、調べてみると、陰陽の学問の元になっていることや不老不死を探求する学問だったことを知り、漢方などの原点になったと感じました。

ルーツだけあつて、一つの建物や像が高価に装飾してあつた。

寛窄巷へ。

中国の情緒ある建物に、たくさんの商店が並んでいて、とても賑やか。色々なものが売っていて、たくさんお土産が買えた。水飴で、絵を描いてもらえたことが嬉しかった。

夜ご飯には、ホットポット。変面などのエンターテイメント性に加えて、辛さが美味しい料理が味わえた。

22日

朝早くから空港へ。中国語で、少しでも、会話が出来るようになって、また来たい。

全体を通しての感想

改めて、大変貴重な体験をさせて頂いた。私は、日本人が抱く中国人のイメージに疑問を抱き、作文を書いて、この訪中研修に参加させて頂いた。訪中する前は、文献やニュースでしか中国のことをイメージできなかった。でも、訪中してみて、やっぱり現実は違うと思った。日本では、中国のことを卑下することが多いけど、メディアなど作り出した幻想だと、私は思う。親切にしてくれる優しい人、日本のことを深く知ろうとしてくれる学生、反対に優しくない人も、中国にはいる。これは、日本も全く一緒。これは、行かなければ分からなかったことだ。

加えて、私は今回の訪中旅行で、特に訪中スタッフの方にご迷惑をお掛けし、お世話になったと思う。なぜなら、途中で、連絡手段が使えなくなったり、体調も悪くなってしまって、ご心配をお掛けしたと思う。それでも、これだけ多くのことを体験し、学ぶことが出来て、楽しむことが出来たのは、支えてくれたスタッフの方や一緒に訪中したメンバーのおかげだと思う。とても感謝しています。

旅の終わりに、また中国に来たいと思った。今回は、中国語ができなくても、周りの人がサポートしてくれたから、コミュニケーションが取れた。でも、やはり、日本語でも通じにくい場面もあった。それに、日本語ができる中国の方々も、日本語で話すより、中国語で話しているときのほうが生き生きしているように感じた。今度は、私も、中国語ができるようになって、また来たい。

北京大学を訪れたことが嬉しかったです。実は何年か前に一度訪れていたのですが、その時は外部の人は入れなくて、門前で追い返されてしまいました… いま自分がこうして首からパスを下げ、門をくぐれたこと、本当に嬉しく思っています。また学食も日本とは違う感じで新鮮でした。本当に美味しかった…！学生の皆さんは日本語が流暢な方が多い。見習いたいです… 交流できる時を楽しみにしています…！

今回、北京、成都の一週間の研修旅行に参加させて頂けたことは、何にも代え難い、一生の思い出となりました。実体験ほど良い情報源は他になく、この身で、中国の様々な問題意識に触れたことを嬉しく思います。また、生活をし、現地の空気に触れることでさまざまな感情を覚え、自分の語彙の少なさに対する焦燥感、中国語で現地の人とコミュニケーションがとれる喜び、悠久や伝統が感じられる様々な文化への畏敬、どれも忘れずに、これからの自分の成長の糧にしたいです。

一番最後、空港で、ずっと引率して下さっていた賈さんから頂いたお話には、胸を打たれてしまい、時間がたった今も、その意味をずっと考えています。「今回訪中したメンバーは、育った場所も、暮らしている環境も全然違う。バラバラな私たちだけれど、共通点が二つある。一つは、中国に対して、前向きに交流したいと考えていること。二つめは、中国に対して優しい気持ちを持っていること。」「優しい気持ちを持つと、その分中国からも優しさが返ってくると思う。」とおっしゃって、微笑まれていたのが印象的でした。

今、日中の架け橋になるべき私たちが、忘れてはならないことは何か。答えは人により違うと思いますが、わたしは、優しさこそが、答えだと思っています。中国に対して他の国だからと見えない壁を作るのではなく、優しさと敬う気持ちを持って見つめること。それこそが良い関係を築く上でのどっしりとした地盤になると思います。

中国を訪れるたび、中国はいつも様々な形で、私を大きな大きな愛で包んでくれます。その愛に何度助けられたことか。同じ分愛を返せるように、これからも熱心に学び、知識を身につけていきます。

この場をお借りして、この訪中旅行に携わって下さった日本科学協会、人民中国雑誌社、スタッフの方にお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。また、一週間行動を共にしてくれた、訪中メンバーの皆さんにも、お礼を申し上げます。今も、そしてこれからも、それぞれの場所で、皆さんが幸せであるよう祈っています。

北京大学は校内が街のように広く、柳に囲まれた湖は美しかった！食堂で食べた夕食はどこか私に懐かしさを感じさせてくれた。北京は思ったより寒く、もう既に2月気分だったけど、夕食は私の体も心も温めてくれた気がした◎

「世界にひとつだけの花」は練習よりも楽しく歌えたし、中国人の誰もが私たちを暖かく迎えてくれて嬉しかった！

1日はあっという間だったから、これからの1週間有意義に過ごしたい。

11/17(2日目)

今日は月壇、地壇、天壇に行きました。研修旅行が始まってから今日までバタバタしてて疲れ溜まってたけど、今日のはのんびりと大きな公園を散策したり、迫力ある歴史的建造物を観光したりして気持ち良かった！銀杏の葉っぱを踏みながらメンバーと会話したり、スタッフさんとも中国語で話す機会がたくさんあって笑いの絶えない一日だったし、みんなとの距離も縮まって嬉しかった！

インタビューでは、日中友好関係のため若者ができることについて考えました。中国を好きな若者たちがSNSを通じて中国をよく知らない日本人たちに中国の魅力を伝えていけたらいいなあと思った。

間食の糖葫芦、昼食の羊肉烩面、夕食のホットポットはどれも最高に美味しかった。

11/18(3日目)

今日は笹川杯日本知識大会を観戦した。問題はどれも想像を絶するほど難しく、中国の学生さんたちが問題を正解するごとに尊敬する気持ちと、日本人なのに答えられない恥ずかしさが混ざった感じだった。不正解しても頑張って引き返そうとする姿勢に感動した。難しい問題ばかりで全部を知り尽くすことはできないとしても、日本人としてもっと日本の歴史、文化、風習、政治などについて知識を増やすべきだと感じた。

午後に観光した頤和園は広すぎたせいか余計寒く感じた＊夕陽が沈む直前は見とれるほど綺麗な景色で、4人でLOVEポーズして撮った写真は記念になった！

夕食は豪華で、ちょびちょびだったけど頂いた白酒は思った以上にアルコール量が多くてびっくりした。席が決まっていたせいか、いつもは話す機会がない子や先生と少し会話できて良かった！

11/19(4日目)

今日は人民中国からの授賞式でした。盛大な授賞式を開いて頂いたことに感謝しています。北京を離れることは少し悲しかったけど、暖かく見送って下さったので嬉しかったです！頂いた資料に成都について書かれていて、行ったことがなかったので飛行機に乗る前からわくわくしていました！成都の風が北京よりもゆるーく吹いていて、街はきらきらしていて大都会であることにまず驚き、さらに豪華すぎる酒店に夕食に幸せですね。夕食後はお友達とパンダポーズのお写真を撮ったり酒店周辺をお散歩したりと楽しかったです！近くにセブンイレブンがあって、中国のセブンイレブンはどのようなものかちょっぴり気になったので入って見たところ、珍しいもの多くてみんな大興奮でした笑

もう研修旅行の半分が過ぎました。とても早く感じたけど、毎日が充実していて良い経験ばかりで私の人生の財産であると思う。残りの時間は短いけど濃い時間になりたい！

11/20(5日目)

今日は熊貓基地に行きました。パンダを生で見るのは人生初で、記念すべき1回目が本場成都のパンダで良かったです。パンダは竹を食べるとひたすら食べ続けていて、でも思ったより食べ方が少し凶暴だったところも可愛かったです。

その後に行った成都博物館では、中国の歴史について学びました。昔の人々の知恵は私たちが思いつかないものばかりだったこと、それから何よりもその時代にすでに素晴らしい考えがあったことに驚くばかりでした。1番印象深いのは、処方箋を細長い竹の上に彫刻してあったことです。昔から医療技術がかなり発展していることもすごいなあと感じました。

武侯祠では昔にタイムスリップした気分で、多くの勇敢な人物に出会えました。小さい頃、「レッドクリフ(赤壁の戦い)」の映画と中国にいた時に学んだ中国史がきっかけで三国史に興味もありました。今日は劉備や張飛、諸葛亮、関羽、周瑜など知ってる偉大な方々のストーリーを聞くことができ楽しかったです！

錦里は中国の昔の街を歩いているようで、雰囲気は素敵でした。砂糖がまぶしてある山査子を食べました！酸っぱくて甘くて美味しかったです。

夕食後、お友だちと酒店周辺をお散歩して、さらに地下鉄を使って天府広場へお散歩しに行きました。COCOを飲みながら、お友だちと交流しながら成都の街をぶらぶら楽しかったです。

今日は1日で2万歩以上歩きました！

11/21(6日目)

今日は中国研修旅行最後の日。朝から寂しい気持ちでいっぱいでした..

中学生のとき杜甫の古诗をいくつか学んで暗記した為、杜甫草堂は今回の研修旅行のなかで1番楽しみにしていた場所でした！実際行ってみたら、やっぱり迫力もあって、自然の美しさも感じることができ、さらに杜甫の故居まで覗けたのは良い思い出になったと思います。園内では、杜甫以外に李商隐、王维、辛弃疾、陶淵明、白居易などの多くの偉人と出会えることができ嬉しかったです！

金沙博物館は中国古代の化石や器具、人々の暮らしが垣間見れたし、中でも虎が正座している人の胸元に向かって口を大きく開いた状態で発掘され、それが宗教的意味を持つかもしれないということが趣深かったです！博物館のシンボルである“太陽神鳥”のマークはバスで街を走っている時にも壁によく同じ絵があることに気づきました。それはその地域の人々が金沙博物館を誇りに思っている証だと思いました。

夕食は今までで最高に素晴らしかったし、興奮しました。四川の本格的な火鍋が食べられて嬉しかったです！盛大な最後の夕食ありがとうございました！日本に帰っても頑張れるくらいパワーをいただきました！

今日は一日お疲れ様でした。また大変ありがとうございました。初日からイベント盛りだくさんで大変充実した一日を過ごすことが出来ました。以前から強く憧れていた北京大学に短い時間ではありますが、交流会や敷地内見学、食事など貴重な経験をすることが出来、個人的にも大変有意義な一日となりました。明日は現地の大学生さんが北京市内を案内してくださるとの事なので、日本語は勿論ですが恥ずかしがらずに中国語も積極的に話していけたらなと思っております。明日もどうぞ一日よろしく願いいたします♀

昨日に引き続き本当に楽しかったです！今まで食べたことない云南料理や四川料理もとても美味しかったです。他にも天安門広場の広さに圧倒されたり、前門の大きさにもとても驚かされたりしました。そして何よりも一日中案内して下さったボランティアの皆さんに出会えたことがとても印象的でした。どなたも日本語が上手で、また日本のことにとっても詳しくて私ももっとも中国の事を知りたいと思いました。別れ際はとても切なかったですが、中国または日本で出会えることを祈って、その時に中国語で今以上に話せるように勉強をしようと思います。今日も本当に一日お疲れ様でした！

きょうは笹川杯日本知識大会の決勝戦の観戦がやはり印象的でした。直前まで問題の復習に励む選手さんや、カメラを構える人たちの量に思わず見ている私まで緊張してしまいました。問題はどれも難しく、日本人の私でさえも分からないものばかりで、優勝した選手さんは本当に沢山の努力したのだらうと思いました。また今日は改めて北京の寒さを思い知らされた一日でもありました。もう間もなく成都に移動しますが、明日はしっかり防寒対策をして一日楽しもうと思います。今日も一日本当にありがとうございました。また明日もよろしく願いします。午前に訪問した人民中国雑誌社では社員の方々の熱い歓迎と、沢山の貴重なお話を聞いたり資料を見たりすることが出来、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。午後は成都へ出発ということで、やはり皆さんと過ごし、また沢山の方と出会った北京を離れるのはとても名残惜しく感じました。また、成都を訪れるのは初めてなのでとてもワクワクしています。また明日（本日）は、パンダ杯を代表している私達にとっては外せないパンダに出会えるとのことでより一層ワクワクしております。本日もまた忙しい一日かと思われませんが、どうぞよろしく願い致します。

昨日も一日お疲れ様でした！今日はおもに成都の街並みや歴史的な建造物などを訪れることが出来、とても有意義な一日を過ごすことが出来ました。武侯祠では、日本でもとても有名な三国志にまつわる様々なものを見学したり、博物館では成都に深く関係する展示物を沢山みることが出来ました。歴史の都としても有名な成都ですが、今私たちの目に映る成都は沢山の高層ビルや発達したインフラが目立ち、中国の発展のスピードに驚かされました。先日まで滞在していた北京でも同様ですが、改めて中国のあらゆる面での発達・発展のスピードに驚きました。

今日も一日お疲れ様でした。実質の最終日である今日はやはりこの度の中でも特別印象的な一日でした。朝に訪れた望江楼公園では現地で暮らす方々の生活の様子を直接肌で感じる事が出来、また杜甫草堂ではかの有名な詩聖・杜甫の歴史や数々の詩に触れることが出来、とても勉強になりました。また午後に訪れた博物館では長い成都の歴史にまつわる数々の資料を見て、その悠久な歴史に触れることが出来ました。また夕食の火鍋では日本ではそうそう食べることが出来ない料理を食べることが出来、この一日で四川及び成都の様々な文化や名物、歴史と触れ合うこ

とが出来たと思いました。明日はいよいよ最終日です。この旅で出会った国籍問わず様々な方との別れ、何よりも中国という国との別れなど少し辛い一日ではありますが、最後まで沢山のことを吸収して帰国したいと思います。明日もどうぞ一日よろしくお願いします！！